

# 宇品築港130周年記念式典が開催されました！

広島港湾・空港整備事務所

広島港は、広島県初代県令千田貞暁翁によって宇品港として整備され、今年で築港130周年を迎えました。広島県と広島市によって、宇品築港を達成させた千田翁の命日の平成31年4月23日(火)に記念式典が開催されました。式典の後、地元の千田貞暁翁遺徳顕彰会主催による「千田貞暁翁遺徳顕彰祭」も開催されました。

宇品港は初めはあまり利用されませんでした。日清戦争以後、物資や兵隊の輸送などの重要な役割を果たし、昭和7年広島港として名称を改め、広島の経済発展に役立ってきました。

## ■式辞

広島市長：松井 一實 氏

中四国地方の中核都市として発展した原点は、「港なくして広島発展なし」と千田翁が心血を注がれた宇品築港にあるということに改めて心に刻み、今後の港の発展を誓う。



千田貞暁の銅像



広島港の歴史を振り返るパネル展

## ■挨拶

広島県知事：湯崎 英彦 氏

今日の国際交流拠点としての広島港の発展は、千田翁の優れた先見性と、卓越した判断力・実行力の賜物である。

県としても国際的な物流人流双方の港湾機能の充実にハードソフトの両面から取り組んでいきたいと考えている。



記念式典の様子



顕彰祭の様子